

Stage7

Hide and Cheat

インチキかくれんぼ

作・シュー・レイナー

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話すといいでしょう。

- ・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントがみつかります。
- ・かくれんぼについて話しましょう。お子さんはかくれんぼしたことを覚えていますか？ かくれんぼのルールについて話しましょう。
- ・2ページを見てこの話にでてくるひとたちを確認しましょう。
- ・3ページを見てこの話の舞台がどこか話しましょう。お子さんにこんな質問をしてみましょう：
タイガーの寝室にはなにがあるかな。
だれか隠れそうなのはどこだろう。

自分のスピードでこの話を読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

<ひっかかることば>

ここにあげるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

grinned ニヤッと笑った

hiding 隠れている

eighteen 18

nineteen 19

twenty 20

disappeared 姿を消した

micro-tracking マイクロ探索

「1……2……3……」

[p. 1]

インチキかくれんぼ

作・シュー・レイナー

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

お話にでてくるひと……

キヤット

マックス

タイガー

アント

モギー

[p. 3]

お話の舞台：タイガーの家……

[p. 4]

マックスとキャット、アント、タイガーはかくれんぼをしていました。

「不公平だわ」キャットが言いました。「タイガーがいつも勝つんだから」

タイガーはニヤリとしました。「ぼくは隠れる名人だからね」タイガーが言いました。

[p. 5]

キャットがさがす番でした。「20 まで数えるよ」キャットが言いました。「今度こそ、タイガーを見つけてやるわ」

[p. 6]

キャットは目をつぶって数をかぞえました。男の子たちは隠れ場所を探すために走って行きました。

「……18、19、20！」キャットはさげびました。

「さがしに行くわよ、もういいかい！」

[p. 7]

目を開けると、キャットは時計に小さな赤い点があるのを見つけました。その点は動きました。それからその点は止まりました。

「変なの」とキャットは思いました。

[p. 8]

キャットはソファのうしろに隠れているアントをすぐに見つけました。

キャットはタイガーのベッドの下にいたマックスを見つけました。

でも、タイガーは姿を消したままでした！

[p. 9]

キャットは時計に目を落としました。赤い点はまだそこにありました。

「タイガーの時計は赤だわ」キャットはひとりごとを言いました。そのときある考えが頭に浮かびました。

[p. 10]

キャットはタイガーの部屋に戻りました。赤い点が光りはじめました。キャットはタイガーの棚の上にあるものをぜんぶ見ました。小石がいくつか、水泳のメダル、それにサッカーの勝杯がありました。ビー玉やマイクロ・バギーもありました。

[p. 11]

キャットはもういちど見ました。そのバギーには運転手がいました。タイガーです！

「インチキ！」キャットは甲高い声で言いました。

[p. 12]

タイガーは車から飛び出しました。そして自分のベッドに飛びおりました。タイガーは時計のダイヤ

ルを回しました。一瞬のうちに、タイガーはふつうの大きさになりました。

[p. 13]

「キャット、どうやってタイガーを見つけたんだい？」マックスがたずねました。

キャットはみんなに赤い点のことを話しました。

「すごい！」アントが言いました。「キャットの時計はマイクロ探索装置なんだ。つまり、ぼくたちが小さくなっているときにキャットはぼくたちを見つけれらるってことだよ」

[p. 14]

「ということは、キャットがインチキじゃないか！」タイガーが言いました。

キャットはほほが熱くなるのを感じました。「わたし、インチキじゃないもん！」キャットが言いました。

「やったじゃん！」タイガーが言いました。

[p. 15]

キャットはドスドスと階段を降りました。「もう遊ばない！」キャットは大きな声で言いました。

キャットはテレビをつけました。

[p. 16]

マックスとアントとタイガーは時計のダイヤルを回して……

3人は小さくなってマイクロかくれんぼをしました。アントはタイガーの筆入れに隠れました。でもタイガーはアントを見つけました。

[p. 17]

マックスはタイガーのおもちゃの宇宙船に隠れました。でもタイガーはマックスを見つけました。

今度はアントがさがす番でした。アントはすぐにマックスを見つけました、でもタイガーは姿を消したままでした……またしても！

[p. 18]

「タイガー、出ておいでよ」マックスが大声で言いました。「ぼくたち、降参するよ」

「タイガーがいちばん隠れ上手だよ」アントが大きな声言いました。「もうでてきてもいいよ」

タイガーはでてきませんでした。

[p. 19]

マックスとアントはふつうの大きさに戻りました。

ふたりはキャットをさがしに行きました。

「キャット、助けてよ。タイガーが見つからないんだ！」アントが言いました。

[p. 20]

「だからなんなのよ？」キャットは言いました。

「トラブルに巻き込まれているのかもしれないよ」マックスが言いました。

キャットは時計を見ました。赤い点はタイガーが台所にいることを示していました。

[p. 21]

台所で、3人はタイガーのペットのネコのモギーを見ました。モギーは靴のそばに攻撃しようと身をかがめていました。モギーはしっぽを振りました。それからモギーは片方の靴に前足をつっこみました。その靴から小さな悲鳴が聞こえました。

[p. 22]

「あ、たいへんだ！」アントが言いました。

「急げ！」マックスが言いました。

キャットはモギーを持ち上げて、しっかりと抱きしめました。小さくなっていたマイクロ・タイガーが靴から飛びでてきました。タイガーはふつうの大きさに戻りました。

[p. 23]

「ふう！ あぶないところだった！」タイガーは息をはずませて言いました。

「わたしたちキャットけんかするとどうなるか、思い知ったでしょ！」キャットが笑いました。

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・最初に数をかぞえるのはだれの番だったかな？
- ・キャットとタイガーと、どちらがずるをしていたと思う？
- ・小さくなったマイクロ・マックスとマイクロ・アントはどこに隠れていたんだろう？
- ・お話の最後で、タイガーにはどんなことがあったかな？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。お子さんに想像力をはたらかせるようにすすめてください！ もしお子さんがマイクロサイズになれたなら、どこに隠れたいと思うでしょう？ かくれんぼをしてみたいかですか！